



新年度のご挨拶

いづろ今村病院 院長 長野 真二郎

昨年度も各施設の方々には大変お世話になりました。当院では昨年度、健康管理センターを本館1階から別館1・2階に移転しました。これにより、広いスペースと短い動線を提供できるようになり、利用者の満足度向上につながったと自負しております。また、産業医の内田久美子先生が常勤医として加わり、さらに充実した健診サービスを提供できる体制が整いました。

3月末には、健康管理センター跡地に地域連携室を移転し、入退院支援（PFM）のさらなる充実を図る予定です。併せて、在宅療養支援センター（仮称）を配置することで、地域住民や患者様、近隣医療機関との連携を一層強化したいと考えています。また、在宅療養支援病院として訪問診療を行うとともに、訪問診療を実施している他医療機関の受け皿としての役割も果たせる体制を構築する方針です。

診療体制においては、糖尿病センターやIBDセンターをはじめとする専門的医療の提供を継続し、緩和ケア病棟の充実を図るため医師を増員します。また、地域包括ケア病棟での入院を円滑に受け入れるため、総合診療部の体制を強化し、土曜日までの入院受け入れを可能にする仕組みづくりを進めています。急性期医療に関しては、今村総合病院と引き続き連携し、地域医療に貢献する方針です。

さらに、今年度は近隣住民との積極的なコミュニケーションにも力を入れていきます。コロナ禍で中止していた「健康・介護まつり」は2年前から再開し、昨年度は名山校区コミュニティ協議会との協賛となり、甲東中学校吹奏楽部の皆様による院内演奏会を開催することができました。今年度も町内会との連携を密にし、地域社会から信頼を得られるよう、病院と職員の成長を目指します。

昨今の社会情勢の変化が当院にも大きな影響を与えています。職員の待遇改善として給与の引き上げを実施しましたが、診療報酬の増加が見込めない中で経営はさらに厳しくなっています。また、看護師をはじめとする多くの職種での人手不足が深刻化している状況です。このような状況において当院では、医療DXの推進や業務効率化を図るとともに、現在働いている職員を大切に、スキルアップ支援を強化していきたいと考えております。これからも患者様から選ばれる病院であると同時に、職員にとっても選ばれる職場環境を積極的に整えていきたいと考えています。

本年度も引き続き、各施設の皆様にはご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

慈愛会糖尿病センター/糖尿病内科

新中須 敦 (しんなかす あつし)

副院長／糖尿病内科主任部長

医学博士／日本内科学会専門医／日本糖尿病学会専門医・指導医／内分泌学会専門医・指導医／プライマリーケア学会認定医・指導医／日本動脈硬化学会専門医



【 内分泌代謝内科外来のご案内 】

内分泌代謝内科外来では、内分泌系および代謝異常に関連する多岐にわたる疾患を対象に、専門的な診療を提供します。内分泌系は、ホルモンの分泌・調整を通じて身体の恒常性を維持する重要な役割を担っており、その異常は全身に影響を及ぼす可能性があります。当外来では、鹿児島大学糖尿病・内分泌内科と連携して学会ガイドラインに基づく診療を軸に、各疾患に対して個別化された治療を行います。

内分泌代謝疾患は、患者の日常生活に深刻な影響を及ぼす可能性がある一方で、適切な診断と治療が遅れることにより疾患が進行し、合併症を引き起こすリスクが高まります。当院は、今まで代謝疾患の一つである糖尿病に特化した診療を行ってまいります。しかしながら、地域におけるその他の内分泌および代謝系疾患への専門的アプローチは不足しており、どこに相談したらいいのかといった問い合わせが多くありました。そこで、このたび患者さんに質の高い医療を届けるため、また先生方の日常診療に少しでもお役にたつために内分泌代謝内科外来を新設しました。

【 主な診療対象疾患 】

- ・肥満症（原因精査、教育・内科的治療、肥満関連疾患の予防と管理）
- ・脂質異常症（家族性高コレステロール血症などの原発性脂質異常症 他）
- ・甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺結節、甲状腺腫瘍 他）
- ・副腎疾患（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、副腎不全 他）
- ・下垂体疾患（下垂体腺腫、先端巨大症、プロラクチノーマ 他）
- ・骨代謝異常（骨粗鬆症、骨軟化症、副甲状腺機能異常 他）
- ・希少内分泌疾患（MEN 症候群 他）

【 診療の流れ 】

初診では、詳細な問診と身体診察に加え、必要に応じた血液・尿検査、画像診断（エコー、MRI、CT など）、および内分泌負荷試験を行い、正確な診断を目指します。治療方針は患者ご本人およびご家族と十分に相談しながら決定し、必要に応じて他科や鹿児島大学病院などの高次医療機関とも連携します。

また、病態が安定した患者に関しては、必要に応じて、かかりつけ医との病診連携を行い、定期的な診察をさせていただきます。

【 代謝疾患とチーム医療 】

当外来では、肥満症および脂質異常症をはじめとする代謝系疾患も対応します。そのため、従来の糖尿病外来と同様に多職種チーム医療を重視します。必要に応じて看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など他職種と協力し、患者ごとの全人的医療を目指します。

外来日：毎週火曜日午前（予約制）

ご紹介・ご相談のお願い：患者さんのご紹介や治療についてのご相談は、随時受け付けております。詳細につきましては、当院の地域連携窓口までお問い合わせください。

地域連携室・医療福祉相談室 移転のお知らせ

4月1日より地域連携室・医療福祉相談室は1階旧健康管理センターへ移転いたしました。ご不便をおかけすることがあるかと存じますが、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ 発行者 ■  公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 地域連携室

いづろ今村病院 TEL099-226-2600(代表) いづろ今村病院・地域連携室 TEL099-226-2180 FAX099-226-2181

いづろ今村病院夜間かかりつけ救急 TEL099-226-2600 今村総合病院 救急・総合内科 TEL099-251-2221(代表)